令和3年度　事務事業評価調書	施策名	アイヌの人たちの社会的・経済的地位の向上	施策コード	03091

【視点(E)(I)】
①省エネ設備の普及とエネルギー利用の効率化の促進　②再エネ導入促進、建築物の省エネ化
③次世代自動車などの導入促進　④3Rの推進による廃棄物の削減　⑤温室効果ガス吸収源対策
⑥「Smart道庁」の取組の推進による道庁における業務の効率化・省力化や多様で柔軟な働き方の実現
⑦行政のデジタル化に係る道内自治体間のノウハウの共有化の推進

【見直し区分】
①普及啓発　②会議等　③調査実務　④窓口業務等
⑤施設整備・維持等　⑥委託業務　⑦補助事業　⑧その他

【見直し状況(F)(J)(M)】
①　対応済
②　今回見直しを検討
－　対応が不要

【見直し結果（S)(T)(U)】
見直し状況(F)(J)(M)で①②今回見直しを検討」を選択した検討結果
○見直し対応　△検討継続

整理番号	扶番	重複施策	経費区分	事務事業名	見直し区分	事務事業概要	課・局室名	前年度からの繰越事業費（千円）	事業費（千円）	うち一般財源	執行体制 本庁	出先機関	人工計	フルコスト（千円）	対応方針番号 (A)	事務事業方向性 (B)	理由及び今後の対応 (C)	一次政策評価 重点点検事業 Ⅰ ゼロカーボン 計画等位置づけ (D)	視点 (E)	見直し状況 (F)	理由 (G)	Ⅱ Society5.0 計画等位置づけ (H)	視点 (I)	見直し状況 (J)	理由 (K)	Ⅲ 新型コロナウイルス感染症 該当 (L)	見直し状況 (M)	内容 (N)	Ⅳ 前年度意見 該当 (O)	対応状況 (P)	二次政策評価 意見	ACTION 結果への対応（令和4年度） 次年度方向性 (Q)	次年度対応内容 (R)	重点点検事業 見直し Ⅰ ゼロカーボン (S)	Ⅱ Society 5.0 (T)	Ⅲ 新型コロナウイルス感染症 (U)	二次政策評価意見への対応状況
1001			一般	生活館等整備事業費補助金	②	アイヌの人たちの生活向上を図るため、市町村が行う生活館の運営費に対する補助を行うための業務	アイヌ政策課		103,983	34,666	0.5	0.6	1.1	112,574		現状維持	引き続き、市町村が行う生活館運営に要する経費の補助を継続する必要があるため	－	④	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討	－	⑥⑦	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討	○	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討			会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	現状維持		○	○	○	会議等について、提出書類の調整に電子メールを活用しているところであり、今後もゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向けた取組を進めていく。
1002			一般	生活環境施設改善整備事務費	②	地方改善施設整備事業（アイヌ地区）及び生活館の運営指導を行うための業務	アイヌ政策課		457	229	0.5	0.6	1.1	9,048		現状維持	引き続き、地方改善事業（生活館運営）の指導に要する事務を継続する必要があるため	－	④	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討	－	⑥⑦	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討	○	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討			会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	現状維持		○	○	○	会議等について、提出書類の調整に電子メールを活用しているところであり、今後もゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向けた取組を進めていく。
1003			一般	アイヌ高等学校等進学奨励費	④	北海道に居住するアイヌの子弟で、高等学校又は大学等に進学する能力を持ちながら、経済的理由により修学が困難な者に対する補助金（貸付金）の給付を行うための業務	アイヌ政策課		122,686	56,238	0.8	3.9	4.7	159,393		現状維持	引き続き、修学に必要な経費を補助する必要があるため	－	④	①	申請手続きが既に電子化されているため	－	⑥	①	申請手続きが既に電子化されているため	○	①	申請手続きが既に電子化されているため				現状維持					
1004			一般	アイヌ専修学校等進学奨励費補助金	④	北海道に居住するアイヌの子弟で専修学校又は各種学校に進学しながら、経済的理由により修学が困難な者に対する助成を行うための業務	アイヌ政策課		12,662	6,331	0.5	1.1	1.6	25,158		現状維持	引き続き、修学に必要な経費を補助する必要があるため	－	④	①	申請手続きが既に電子化されているため	－	⑥	①	申請手続きが既に電子化されているため	○	①	申請手続きが既に電子化されているため				現状維持					
1005			一般	アイヌ高等学校通学費補助金	④	高等学校等進学奨励費補助金の交付を受け、さらに高額な通学費を支出する世帯に対する補助を行うための業務	アイヌ政策課		1,224	1,224	0.5	1.1	1.6	13,720		現状維持	引き続き、通学に必要な経費を補助する必要があるため	－	④	①	申請手続きが既に電子化されているため	－	⑥	①	申請手続きが既に電子化されているため	○	①	申請手続きが既に電子化されているため				現状維持					
1006			一般	アイヌ就職奨励事業費補助金	②	アイヌの人たちの就職を容易にするための特殊自動車免許等の取得及び中学卒業後、就職のために必要な経費に対する補助を行うための業務	アイヌ政策課		700	700	0.4	0.0	0.4	3,824		現状維持	引き続き、就職に必要な免許取得費用を補助する必要があるため	－	④	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討	－	⑥⑦	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討	○	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討	○	（公社）北海道アイヌ協会においては、自主財源である収入を増加させるため、国・道からの事業の受託や、会員増による収入増加に向けた取組を進めるとともに、民間企業等からの寄付金を募る取組も進めている。	・道からの補助金等が事業費の2分の1を超える状況であるが、道が主体的、政策的に関わっていることについては理解する。今後においても道との関係性及び活動にあたっての内容、予算等の精査に努めること。 ・会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	現状維持		○	○	○	・公益社団法人北海道アイヌ協会においては、自主財源である収入を増やすため、国・道からの事業の受託や、会員増加に向けた取組を進めるとともに、民間企業等からの寄付金などの支援を受けるための取組を進めているところであり、道としては、引き続き、活動内容や予算等について、同協会と協議しながら、団体の自立化を推進していく。 ・会議等について、提出書類の調整に電子メールを活用しているところであり、今後もゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向けた取組を進めていく。
1007			一般	アイヌ中小企業振興特別対策費補助金	②	アイヌ中小企業の健全な発展に資するため、(公社)北海道アイヌ協会が実施する事業に対して行う補助に関する業務	アイヌ政策課		10,161	10,161	0.4	0.0	0.4	13,285		現状維持	引き続き、展示・販売会等の経費を補助する必要があるため	－	④	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討	－	⑥⑦	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討	○	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討	○	（公社）北海道アイヌ協会においては、自主財源である収入を増加させるため、国・道からの事業の受託や、会員増による収入増加に向けた取組を進めるとともに、民間企業等からの寄付金を募る取組も進めている。	・道からの補助金等が事業費の2分の1を超える状況であるが、道が主体的、政策的に関わっていることについては理解する。今後においても道との関係性及び活動にあたっての内容、予算等の精査に努めること。 ・会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	現状維持		○	○	○	・公益社団法人北海道アイヌ協会においては、自主財源である収入を増やすため、国・道からの事業の受託や、会員増加に向けた取組を進めるとともに、民間企業等からの寄付金などの支援を受けるための取組を進めているところであり、道としては、引き続き、活動内容や予算等について、同協会と協議しながら、団体の自立化を推進していく。 ・会議等について、提出書類の調整に電子メールを活用しているところであり、今後もゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向けた取組を進めていく。
1008			一般	アイヌ雇用促進費補助金	②	アイヌの人たちの就職支援のための相談対応に関する業務	アイヌ政策課		1,345	1,345	0.4	0.0	0.4	4,469		現状維持	引き続き、就職支援のための相談対応の経費を補助する必要があるため	－	④	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討	－	⑥⑦	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討	○	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討	○	（公社）北海道アイヌ協会においては、自主財源である収入を増加させるため、国・道からの事業の受託や、会員増による収入増加に向けた取組を進めるとともに、民間企業等からの寄付金を募る取組も進めている。	・道からの補助金等が事業費の2分の1を超える状況であるが、道が主体的、政策的に関わっていることについては理解する。今後においても道との関係性及び活動にあたっての内容、予算等の精査に努めること。 ・会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	現状維持		○	○	○	・公益社団法人北海道アイヌ協会においては、自主財源である収入を増やすため、国・道からの事業の受託や、会員増加に向けた取組を進めるとともに、民間企業等からの寄付金などの支援を受けるための取組を進めているところであり、道としては、引き続き、活動内容や予算等について、同協会と協議しながら、団体の自立化を推進していく。 ・会議等について、提出書類の調整に電子メールを活用しているところであり、今後もゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向けた取組を進めていく。
1009		03131	一般	アイヌ協会補助金	②	アイヌの人たちの社会的・経済的地位の向上を図るため、(公社)北海道アイヌ協会が実施する事業に対して行う補助に関する業務	アイヌ政策課		36,713	36,713	0.7	0.0	0.7	42,180		現状維持	引き続き、北海道アイヌ協会が行う事業に要する経費を補助する必要があるため	－	④	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討	－	⑥⑦	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討	○	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討	○	（公社）北海道アイヌ協会においては、自主財源である収入を増加させるため、国・道からの事業の受託や、会員増による収入増加に向けた取組を進めるとともに、民間企業等からの寄付金を募る取組も進めている。	・道からの補助金等が事業費の2分の1を超える状況であるが、道が主体的、政策的に関わっていることについては理解する。今後においても道との関係性及び活動にあたっての内容、予算等の精査に努めること。 ・会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	現状維持		○	○	○	・公益社団法人北海道アイヌ協会においては、自主財源である収入を増やすため、国・道からの事業の受託や、会員増加に向けた取組を進めるとともに、民間企業等からの寄付金などの支援を受けるための取組を進めているところであり、道としては、引き続き、活動内容や予算等について、同協会と協議しながら、団体の自立化を推進していく。 ・会議等について、提出書類の調整に電子メールを活用しているところであり、今後もゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向けた取組を進めていく。
1010		03131	一般	アイヌ文化理解促進普及啓発事業	①	道民全体へアイヌ民族の歴史・文化等の学習機会の提供	アイヌ政策課		40,597	0	0.8	0.0	0.8	46,845		終了	コロナ禍においても道民全体にアイヌ民族の歴史・文化等を学ぶ機会を提供する。 予算資料上は単臨だが、来年度以降、同様の事業で事業の再構築を検討している。	－	④	①	事業内容において、すでにオンライン化に対応済みであるため（アイヌ文化等の理解促進の他面普及啓発動画を作成し、今後教育現場等での活用を図る）	－	⑥⑦	①	事業内容において、すでにオンライン化に対応済みであるため（アイヌ文化等の理解促進の他面普及啓発動画を作成し、今後教育現場等での活用を図る）	○	①	事業内容において、すでにオンライン化に対応済みであるため（アイヌ文化等の理解促進の他面普及啓発動画を作成し、今後教育現場等での活用を図る）				終了					
1011		03131	事務	アイヌ政策課総合調整等業務	②	道議会事務、国連宣言や国会決議に関する事務、予算決算等室内の庶務に関する事務全般及びアイヌ政策課内の事務の処理に関する業務	アイヌ政策課		0	0	0.4	0.0	0.4	3,124		現状維持	引き続き、アイヌ政策課総合調整等に係る事務を継続する必要があるため	－	④	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討	－	⑥⑦	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討	○	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討			会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	現状維持		○	○	○	会議等について、提出書類の調整に電子メールを活用しているところであり、今後もゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向けた取組を進めていく。
1012			一般	アイヌ住宅改良事業費補助金	②	市町村が行うアイヌの人たちの住宅新築等に対する貸付金への補助に関する業務	アイヌ政策課		9,300	9,300	0.2	0.0	0.2	10,862		現状維持	引き続き、住宅新築等に対する貸付金への補助に関する業務継続する必要があるため	－	④	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討	－	⑥⑦	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討	○	②	打合せ等のオンライン化や資料の電子化（ペーパレス化）を検討			会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	現状維持		○	○	○	会議等について、提出書類の調整に電子メールを活用しているところであり、今後もゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向けた取組を進めていく。
計								0	339,828	156,907	6.1	7.3	13.4																									

■令和４年度　新規事業

理解促進普及啓発事業